
囚われの王子

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

囚われの王子

【Nコード】

N2606H

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

革命に巻き込まれた王子と、新しい王子の心のふれあい。

ある国で革命が起こり、王は殺され、王子は捕らえられた。

王子は、捕らえられたのだから殺されるだろうと思った。

しかしいつまで経っても牢屋に閉じ込められ、来る日も来る日も粗末なご飯を与えられた。

明け方の海のように澄んでいた瞳は、不安で濁り、桃のように生き生きとして赤みのあつた顔も、蠟人形のように青くなった。

僕がここに捕らえられている理由は分かる。

父が、国を顧みず悪徳政治をしていたからだ。

父を殺しても、僕が生きていたら革命が成功したことにはならない。だから僕もいつか殺されるだろう。

しかし閉じ込めるだけで、一向にその様子は無い。

飼い殺しにするつもりなのか？

王子はご飯を運びに来たおっさんにすがるように言った。

「なぜ僕はすぐに処刑されないのか、教えてくれ。」

「新しい王子が、殺さず生かしておくようご命令なさっているのです。」

「どうしてそんなことを？」

「王子は、あなたを政治に利用すると言っている。しかし私にはそれが建前のようにしか思えんです。」

おっさんは空になった皿を持って帰るとき、元王子の方を向いて言った。

「じきに新しい王子が、あなたに会いに来ます。その時、ご自分で理由を聞いてごらんなさい。」

三日月が夜空を頼りなく照らすころ、新しい王子が独りで忍んでや

って来た。

新しい王子は僕と同年に見える。

しゃがんで僕の顔をじっと見てくる。

あまりにも無垢な表情だ。

「どうして僕を生かしておくの。」

新王子は純粋な目で言った。

「君は何も悪いことしてないでしょ。ただ血が繋がっているだけで殺すなんておかしいよ。君を閉じ込めるのも嫌だったんだけど、僕も父上には逆らえないんだ。」

新王子はお山座りして、僕と向かい合った。

「そんなきれいと言って、僕を政治に利用する気なんだろ。」

「そうでも言わないと、父上は君を生かしておかないから。」

新王子はポケットからキャンディを取り出した。

そして柵の隙間から、僕に渡した。

「あげる。ご飯だけじゃ、お腹空くでしょ。」

僕がキャンディを受け取ったのを見て、新王子はふんわり笑った。チリチリ音をさせながら銀色の包みを取ると、オレンジ色の飴玉が出てきた。

・・・もしや新王子は、僕に毒入りの飴を渡したんじゃないか。直感的にそう思った。

もし毒入りだったとして、死んだとしても、ずっとここで飼い殺しにされるよりはいい。

僕は死ぬつもりで、飴を口に含み転がした。

「よかった。君は、僕を信じてくれているんだね。僕のことを疑っているなら食べないもの。」

新王子の顔を見ると、目が潤んでいた。

「いつか、ここから出してあげるから。絶対に。」

僕は信じていいのだろうか？

新王子が去ってから、僕はしみりと考えた。

今まで立派な王になるために、生きてきた。生かされてきた。それなのに、いきなり捕まって、ここにいる。

今までの、王になるための努力が無駄になってしまった。

今、僕に出来るのは新王子の言葉を信じることだけだ。

新王子は僕を信じてくれている。僕も彼を信じよう。

信じると決めてから、なぜか牢屋にいても苦しくなくなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2606h/>

囚われの王子

2011年1月26日08時01分発行